



ご来館の皆さまへ

お願い

- ・ペットの同伴はお断りしております（ただし盲導犬・介助犬・聴導犬は可）
- ・館内での飲食はご遠慮ください（熱中症対策の水分補給を除く）

西部3Rステーションではフードドライブ活動を行っています！

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか？西部3Rステーションでは常時「フードドライブ」活動を行っています。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で
余っている食品を
ご提供ください！



日 時 毎日10:00～16:00※休館日を除く **場 所** 西部3Rステーション2階受付
対象となる食品 未使用・未開封のもので、賞味期限まで1か月以上あるもの。
缶詰やレトルト食品、乾物、菓子、米、飲料、調味料など常温保存可能なものに限りま。

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行っています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか？

体験講座

すべて無料！

内容は変更する場合があります

牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



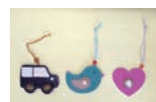
食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



身近なもので万華鏡

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



廃油で“リサイクル”せっけん作り

水曜日 10:30～11:30
定員 10名/日(先着順)
申込 希望日の3日前まで



体験講座の申込方法

電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①**体験内容**②**住所**③**氏名**④**年齢**⑤**電話番号**を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談ください。

■ふくおか環境倶楽部主催

日時 毎月第2・第4土曜日
13:00～16:00

場所 2F啓発コーナー

参加費 無料 **事前申込** 不要
※基材・テキスト購入可



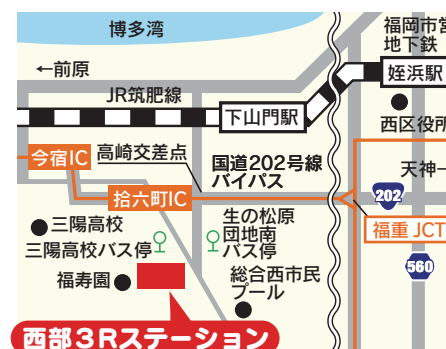
福岡市西部3Rステーション

開館時間 10:00-17:00
(衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 月曜日
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL 092-882-3190 **FAX** 092-882-4580
〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

**バスで
お越しの方**
姪浜・天神・博多方面より
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分
[西鉄バス情報] <http://www.nishitetsu.jp/bus/>



<http://www.fukuoka-seibuplaza.com>

福岡市西部3Rステーション

検索



くるくる便り



写真提供：福岡県観光連盟

昔の「里」 今の「里」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



人と自然の絆が失われてしまう!?

かつて里には豊かな緑と田畑が広がり、たくさんの生きものが見られました。特に田んぼとその周辺には、2020年時点で実に6,305種類の生きものが確認されました(田んぼの生きもの全種データベース^(※))。

私たちは森から川によって運ばれた栄養で、おいしい米や野菜を育てることができます。そこでできた作物の多くは地産地消により、その地域に適した調理方法で作られ食べられてきました。このように、里の自然とそこに暮らす人々は密接につながっていました。

そんな里は人々の適切な手入れによって、多様な生きものが暮らせる豊かな自然が維持されてきました。しかし現在は、過疎化や高齢化による田畑の放棄、都市開発などによって、かつての光景が失われ、生き物も暮らしにくくなっています。

では里が荒れてしまうのでしょうか？

(※) 琵琶湖博物館HPIにて公開中

里が荒れてしまうとどうなるの？

里が荒れてしまうと起こる主な3つの問題

POINT

01

災害リスクの増加

田畑は、雨水を貯えたり、地中に浸透させて地下水にしたりする役割があります。田畑が放棄されると、土砂災害や洪水の危険性が高まります。

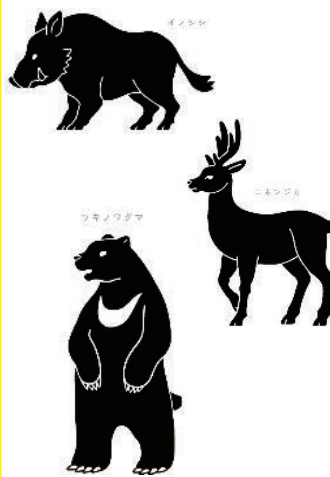


POINT

02

野生動物の出没

放棄された田畑に実った未収穫の作物や生ごみの放置などにより、シカやイノシシ、クマなど野生動物が街中に出没するようになります。



POINT

03

ごみの不法投棄

管理の行き届かない土地は不法投棄が多くなります。不法投棄は景観を損ねるだけでなく、そこで暮らす生き物たちへの悪影響も考えられます。



こうした問題に対処するため、ボランティアによる保全活動など、日本の各所でさまざまな取り組みが行われています。

では私たちにもできることは何でしょうか？まずは、かつての里を体感することから始めてみませんか？西部3Rステーションでは年に2回、福岡市の緑豊かな場所で親子自然観察会を実施しています。いろいろな種類の虫や植物など生き物を見て、触れて、聞いて、嗅いで、豊かな自然を体感できます！ぜひご参加ください！！



親子自然観察会の様子

つなげよう 支えよう森里川海



出典：環境省作成 森里川海パネル

これまで4回にわたって「森里川海」のつながりについて紹介し、今回が最後になります。

私たちの暮らしが、森里川海のつながりでもたらされる空気・水・食べ物・資材などに支えられています。この森里川海のつながりには、私たち人間の関わりが大いに影響を与えます。行き過ぎた開発や利用、管理の不足などによって、そのつながりが絶たれようとしているのです。

私たちの、ごみの削減、省エネ、環境保全活動などの小さな行動が森里川海を守ることにつながるのです。

今日から取り組める、私たちにできることの例

ごみの削減

・食品ロスの削減

食べ残しをしない、賞味期限が近いものから使うなど、食べられる食品を捨てない。

・3Rの推進

リデュース（ごみを減らす）、リユース（くりかえし使う）、リサイクル（資源として再利用する）に取り組み、ごみを減らす。



省エネ

・節水、節電

節水をすることで、家に届くまでの電気の節約にもなる。

・公共交通機関の利用

車ではなく、鉄道やバスを利用して、二酸化炭素などの排気ガスを減らす。

・エコドライブ

車での移動が必要な場合は、アイドリングストップや、急発進・急加速を減らして、排気ガスを削減。

環境保全活動

・自然を体感する

多様な動物や植物を観察したり、触れ合ったりして自然を感じる。

・ごみ拾い活動への参加

地域清掃や海岸のごみ拾い活動に参加し、自然を守る。

